

We Love

インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

Internet People

このコーナーは、インターネットピープルの皆さんが作るページです。話題のインターネットピープル、こぼれ話、CU-SeeMe大会など、読者の皆さんの投稿と編集部が取材した旬の話題を提供します。投稿分にはダイレクトプラスが発行されます。ジャンジャン投稿して豪華賞品をGetしよう。Let's Access!!

Shouting!



今月の高座

高校2年生
木元耕一郎さん

最近、単身赴任中の父親がインターネットに興味を持っているようです。いろいろと質問して来ます(もちろん電話で...)が、聞くところによると会社の同僚が離れ離れになった家族

とインターネットでメールのやり取りなどをしているらしいのです。毎日のように電話で質問が来るのは勘弁してほしいので、早くメールが送れるようになってほしいものです。



以前、田舎にいる両親(62歳&59歳)の家に古くなったパソコンを持っていき、セットアップしてあげました。プロバイダー契約も済ませ、わが家のホームページが見られるようにして来ました。今ではたまにメールも来るようになりました。今度は子供の写真を添付して送ろうかな。(望月さん)



最近、家族でインターネットを楽しんでいる人も多いようですね。単身赴任や下宿で離れて暮らす家族との連絡には電子メールって本当に便利ですよ。家族にインターネットの使い方をレッスンするのは大変かもしれませんが、家族みんなが使えるようになったら楽しいでしょうね。メールのやり取りができるようになったら、次はCU-SeeMeなどを使った映像や音声のコミュニケーションに挑戦してみたいかがでしょうか? (編集部)



Chatting!



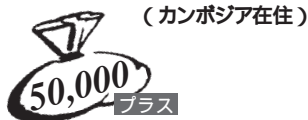
声を聞かせて

7月号の「数字で見るインターネットの現状」の中の「ユーザー・非ユーザーの年齢」で、ユーザー側の15歳未満が0.0%でした。な～んか腑に落ちません。だって私14歳と9か月ですから。まあ、四捨五入のせいでしょうが、やっぱり中学生以下のユーザーって少ないのですね。そのうえ20歳未満のユーザーでも60歳以上といい勝負してんじゃないですか? いったいどうなってるんだ? もっと若者が積極的でなければ!!



カンボジアにもついにインターネットのプロバイダーができました。カナダ政府の援助により、カンボジア郵政省が設立したCamNetがそれです。シンガポールとの64Kbpsの衛星回線1本ですが、試験運用中の現在はほとんどユーザーがならず、快適そのもの。でも、まだログイ

ンが確実にできなかつたり、途中でDNSサーバーがダウンしたりと、正式運用まではもう少し時間がかかるかもしれません。



毎朝使っている男性用化粧品ですが、これってどこかのブラウザのマークみたいなんです。(飯沼実)



撮影: Cyber-shot DSC-F2 (ソニー)



先日、あるメーリングリスト宛てに間違えて友人宛ての個人的な内容のメールを送信してしまいました。すると、クレームのメールが来るわ来るわ。メーリングリスト上にも私を非難するメールがたくさん。確かに間違えた私が悪いのですが、会ったこともない人たちに何でもこまでひどく言われなければいけないのか、悲しくなっていました。(M.A.)



僕の地域にもやっとアクセスポイントができました。インターネットで電話代がかさむというのは困ったもので、このせいかアクセスポイントがない田舎では「インターネット=電話代がかかる」というイメージがあるようです。



MyHomePage

自薦ホームページPRコーナー

愛好家必見の『アウトドア王国』

URL <http://www.outdoor-jp.com/>

「アウトドアの会」が推薦する全国のキャンプ場情報。現在、首都圏、関東圏、東海圏、関西圏を中心にアウトドア情報が充実しています。「アウトドアの会」が推薦するキャンプ場が、現地取材によるカラー写真、テキストでばっち



り見られます。現在、キャンプ場情報は、どんどん更新中です。アウトドア仲間の参加する「うぶ会議室」もあり、アウトドア愛好者必見のホームページです。(代表: 粟飯原洋秋)



62歳のプロゴルファーがレッスンを

URL <http://www.venus.dtinnet.or.jp/~sese/>

ゴルフを小学校の体育の正課にと20年来叫んでいる者です。ゴルフ打法の動きを人間工学の見地から「ゴルフの竹」にしてみました。「夢ディアゴルフ教室」ではタイガー・ウッズの強さの秘密を発信しています。日本弓道、中国の太極拳を活用した「反射、反応」もあります。健康で永く生きるヒントが満ちたハッピーゴルフ実体感篇です。(瀬々孝一)



北海道キャンプのすすめ

URL <http://www.alles.or.jp/~atsumin/>

この夏、憧れの北海道をめざしている人結構多いのです。そんな、夏の北海道キャンプをライフワークにしている北海道大好き人間のホームページです。わが家が経験した、北海道キャンプ旅行の出来事を紹介しています。北海道キャンプ旅行を計画している方や、これから行こうと考えている方の参考になること間違いなし! いざ、北の大地へ! (あつみん)



プロバイダーをサポートする

URL <http://www.fuchu.or.jp/fitsclub/>

私が加入しているプロバイダーでは会員がサポート体制を作っています。市内に設立されたプロバイダーを育てていこうという考えで「ふいつクラブ」が発足しました。現在12名のメンバーで、自分たちで会費を払ってクラブを運営し、無料でプロバイダーのホームページ作成やユーザーサポートのお手伝いをしています。(近藤静夫)



動物好きのスタッフが作るオンラインマガジン

「ペット大好き!」編集長・岡見圭さん



Q: 「ペット大好き!」創刊1周年おめでとうございます。以前は、紙のペット雑誌を編集していた、1年前からオンラインにしたのだそうですね。

岡見: 不定期刊ですが、『イヌが好き!』『ネコが好き!』という毎日グラフ別冊のムックをやっていました。そのあと『毎日グラフ』が『アミューズ』にリニューアルしたときから連載も始まりました。ムックのほうは出版社の方針で休止になったんですが、それまで4年間くらい、ペットのことを継続的にやっているうちに、ペット業界や獣医師の人たちとかいろんな人脈もできたんです。編集部は全員動物を飼っていて、動物が好きで、ムックは終わっちゃったけど、せっかくだからもっと続けたいという



話になったんですね。

ちょうどその頃インターネットが非常に使いやすくなってきた。WWWの世界が注目されてきたんで、いっそのことペーパーレスでやってみようじゃないかということになったのが、ちょうど1年半前くらいです。それから、準備をして、去年の5月1日にプレ創刊号を出して、6月1日にそれを更新して、7月1日が正式創刊。ですから、最新号はvol.13ですけど、バックナンバーは14号分あります。

Q: インターネットはどういうふうにして始めたんですか?

岡見: 今から3年くらい前ですね。たぶんブラウザがモザイクからネットスケープに切り替わった頃ですね。某インターネット雑誌の創刊時に僕らに声がかかって、創刊準備号を作ったんです。結局編集部と喧嘩して辞めちゃったんですけど、インターネット自体はすごく面白いと思って、それから本格的に始めたんです。第一世代のゴリゴリの人に比べると遅れて始めましたけど、わりと早いほうじゃないですか。やっているうちに、HTMLってすごく面白

いと思うようになったんです。自分でも書きたいなと思って、当時いいエディターはなかったんで、タグをいろいろいじっていました。そのうちにアドビのPageMillが出てきて、僕はマックだったので、それでやっているうちにHTMLをマスターしちゃったんです。今の「ペット大好き!」はデザイナーがHTMLを書いていますけど、実は僕も書けるんですよ。

Q: そうすると、ご自身の「千成コンプレックス」のページ(<http://www.asahi-net.or.jp/ic6k-okm/>)は、自分で書いているわけですね。

岡見: ええ、あれで腕ならしをして、「ペット大好き!」のページを作ったという感じですね。やはり、自分で作らないと、読む人の立場になってこういうページなら見やすいとか技術的にどうすればいいかというのはわからないじゃないですか。今は僕が「ペット大好き!」のページのHTMLを書くことはないですが、個人ページのほうは今でも自分で作っています。今使っているのは、PageMillの2.0Jと、最近ウィンドウズも始めたので、マイクロソフトのFrontPage97も使っています。でも、Page Millはよくできていると思いますよ。

Q：ムックの編集は、出版社からお金が出ると思いますが、オンラインマガジンでかかるお金はどうしているんですか。見たところバナー広告などはないようですが。

岡見：最初は全部持ち出しでした(笑)。今は、徐々に実績ができてきたんで、スポンサーが付いているんです。雑誌全体ではなくて、一部の記事について、スポンサーになってくれる企業がいくつかあるんです。それでやりくりしています。たとえば、ペットフードのメーカーが新しい商品の手応えをマーケティングリサーチするのに協力するということなことです。紙の雑誌のタイアップ広告のようなものです。広告代理店からも話が来ます。企業から直に来る場合もあります。僕らとしても、あまりはつきりした広告は入れたくないというのがあって、そういう目立たない形でやっています。むしろ、企業のほうが僕らの趣旨に賛同してくれて、露骨に企業色を出さずにやってくれますね。ただし、ビジネスとしては小さなものです。オンラインマガジンを維持管理していけるお金が出て、それでちょっと黒字くらいです。儲かって仕方がないということとは金輪際ないです(笑)。

Q：なるほど、でもオンラインですから、印刷費はかからないわけですね。

岡見：紙の雑誌は、造本費・編集費で、数千万円はかかります。でも、ホームページは、コンテンツを作るのにはお金がかかりますが、それ以外はサーバーの維持管理費だけ。月に数千円の世界ですから。でも、当初は、もっと簡単にタイアップ広告が決まると考えていたんですが、そんなに甘くはなかったですね。「ペット大好き！」のアクセス件数は月に6,000～1万件くらいなんで、大企業の1日何万件というのに比べたら大したことはない。そうすると、大手企業はメディアとしてあまり大きな影響力があるとは思ってこないし、実際大きなメディアじゃないんです。媒体価値とし



◎スタッフの動物に対する愛情が伝わってくる「ペット大好き！」。「ペットなんでも相談室」は人気コーナーの1つ。
URL <http://www.mmjp.or.jp/pet-daisuki/>

てはまだまだ低いかもしれませんね。ただ、うちの読者は女性が40パーセントくらいで、インターネットの平均よりずっと多いんです。

Q：ペット好きの人だけが見ているというふうには、読者が絞られているということでも、媒体の価値としては高いですよね。今、スタッフは何名くらいですか？

岡見：今、常時動いているのはHTMLを記述するデザイナーが1名と、編集部が4名。その5名に加えて、カメラマンやイラストレーターの人たちや、ボランティアの獣医師の人たちが関わっています。ですから、ボランティアも含めるとけっこうたくさんの方に協力してもらっています。「ペット大好き！」へのメールで一番多いのは、「ペットなんでも相談室」のコーナーですが、ここに来た相談のメールのうち、病気に関するものとか僕らでは調べられないものは、獣医師の方に送ってメールで返してもらっています。それを僕らがまとめてアップして、質問をくれた方にもメールを出します。ペットを飼っている人は、本当に病気だったら獣医さんのところに連れて行くけど、健康相談みたいなのはお金がかかるから聞くところがないでしょう。それぞれの獣医師の方はホームページを持っていますから、



回答の最後にそこへのリンクを張っておいて、それで先生たちのページに行けるようになっていきます。獣医師の方も楽しんでくださっているようですし、読者の方にも喜ばれていますね。

Q：今後は、どんなオンラインマガジンにしていると考えていますか？

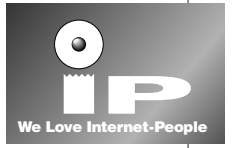
岡見：オンラインマガジンのほうは、続けたいと思っていたのを、たまたまインターネットに活路が見出せたということで、今は少しですが黒字にもなっていますから、この調子で続けていきたいですね。それと、獣医師のネットワークとか、個人でペットのホームページを持っている人のネットワークとか、いろんなネットワークができていますから、これを何かほかの仕事に結びつけていけないかなと考えています。そのためにも、もっとネットワークを広げていきたいですね。それから、7月号で告知していますが、バックナンバー14号分をCD-ROMにして、読者の方に有料ですがお分けしているんです。1号分が10Mバイト以上ありますし、データベースとしても、けっこう価値があると思います。

(取材・文/鈴木康之)

Mobile!

私のモバイルライフ

話題のモバイルコンピューティングを実践している人を紹介
します。このコーナーには、あなたの身の周りの「モバ
イル野郎」に登場してもらいます。自薦・他薦は問いません。



佐野和樹さん

年齢：30歳(1967年4月23日生)

趣味：バイクと旅行

URL <http://www.02.so-net.or.jp/kaz/>

某大手電機メーカーに勤める佐野さんの仕事は、世界中に散らばる携帯電話の工場支援や部品の情報収集だ。変化が激しい業界なので、常に価格や品質を把握し、先手を打つ必要がある。そのため、いつでも電子メールの読

モバイルQ&A

Mobile Q&A

モバイル歴：約2年

メインマシン：東芝リブレット50CT(メモリー32Mバイトに増設)

ほしいもの：アメリカ並みの安い通信コスト

やりたいこと：全世界を舞台に、PCを使って会議や旅行の実況中継

困っていること：LAN・自宅ともに回線容量が細いこと

好きなモバイルポイント：公園などの自然があるところ

み書き、イントラネットが活用できるモバイル環境は仕事に欠かせないという。

「私の現在の仕事は情報とスピードが命なので、モバイルが非常に有効なのです。でも、会社のみならず具体的な使い方が思い浮かばないようです。しかし、私が最先端のものを試すことで会社も徐々に理解を示してくれるようになったので、これからもうめいっぱい使っていきたいですね」



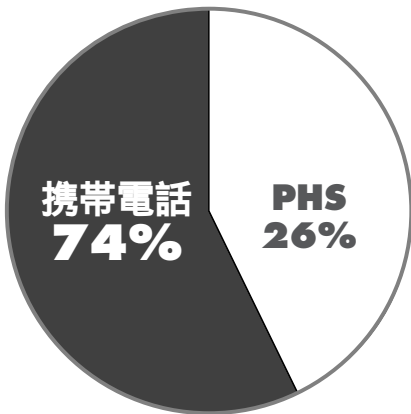
○ リブレットやデジタルカメラ、ビデオエンコーダー、海外用の変換アダプターなどのモバイルグッズがぎっしりと詰まった佐野さん愛用のカバン。

Thinking!

インターネットマガジン世論調査

6月の結果発表!

32Kデータ通信サービス開始。
あなたはPHS派、携帯電話派?



PHS派の声

まず、単純に32Kのデータ通信サービスがよい。個人的に車や電車での移動中は電話を受けたくないの、かかってきてほしくない。上記の理由で私はPHSを支持します。(22歳 学生 男性)

両方持っていますが、音がいい点やモバイル環境で使えるということからPHSです。PIAFSの通信は安定していて、出張やちょっとした時間にメールを読むのに便利です。サービスエリアも広がってきたし。(28歳 教員 男性)

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

携帯電話派の声

会社で出張や外出が多い場合など、やはり通話エリアの広い携帯電話のほうが良いと感じます。(26歳 会社員 女性)

これからモバイルするならPHSと考えているが、パソコン通信以外にも電話を使うのでとりあえず携帯電話かな?(26歳 会社員 男性)

田舎なもので、PHSは使えないんです。(24歳 会社員 男性)

投稿大募集!

「We Love Internet People」は、次号でモデルチェンジを行います。インターネットにまつわる不思議なウワサや楽しい川柳、人に言えない失敗談など、新コーナー満載で新装開店です。もちろん、これまでどおりインターネット体験記や自慢のホーム

ページの情報、本誌に対する意見や感想なども募集します。読者の皆さんと編集部を結ぶページと

してより一層楽しいページにしていきたいので、ドシドシ情報をお寄せください。

宛て先は

ip-box@impress.co.jp



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp